

投資の解像度 を上げる

超インフレ時代のお金の教科書

頼藤太希

Taiki Yorifuji

CROSSMEDIA
PUBLISHING

はじめに

なぜ、投資すると 不安になってしまうのか？

投資している人もしていない人も、

「このままでいいのか？」と思っていない人か。

「将来のために投資を始めたけれど、心配事が余計に増えた気がする」

「『この銘柄が儲かる』というSNSの情報に、目移りしてしまう」

「また暴落が来るのではないかと不安」

「新NISAのブームに乗り遅れたけど、何かしないといけない」

そんな声も聞こえてきます。

投資をしている人ほど、不安は強いのではないのでしょうか。

将来のために投資を始めたのに不安になってしまっていては元も子ありません。

そもそも、投資を始めようとした動機を思い出してみてください。

簡単に言えば、「お金を増やしたい」ということだと思います。

「投資でお金を増やす」ことの重要性は、テレビのニュースやネット、SNSなどさまざまなところで声高に語られています。

しかし、今ほど投資をするのが難しい時代はないと思います。

ありとあらゆるものが値上がりするインフレで苦しくなる生活。

乱高下する株価、不安定な政治情勢、続く円安。

SNSなどで、インフルエンサーによる極端な情報を目にする機会も多いでしょう。

「この不安定な中で、どのように投資すべきか？」

本書は、その問いに答えるために執筆しました。

私は仕事柄、「これから投資を始めた」という初心者の方から、数十年も金融業界にいらっしゃる投資のプロまで、さまざまな方とお話しさせていただく機会があります。

プロとそうでない人との差は何か。それは「投資の解像度」だと思うのです。

そもそも投資における不安は、感情に支配されてしまうことで生まれます。

失敗するのは大抵、冷静な判断ができなかったときです。たとえば、損をしそうなとき。多くの人は慌てて「損をしないために行動した」結果、損をしてしまうのです。

感情に支配されてしまうのは、「投資の解像度が低い」からに他なりません。

もちろん、投資は未来に向かってするもの。未来のことは、誰にもわかりません。

しかし、知識をつければ未来のことに備え、対処することができます。

成功している投資家は、投資理論や自分のバイアスを理解したうえで、世界情勢や暴落リスクまで考慮して投資を行っています。

投資1年目は「長期・積立・分散投資」「新NISAやiDeCoの活用」「オルカンへ投資」でよかったかもしれません。

しかし、投資2年目以降は、レベルアップしていくべきです。

投資家としてレベルを上げるために、「投資の解像度を上げましょう」というのが私の提案です。この解像度を高めることこそ、不安定な時代に投資する際には欠かせないスキルだと考えています。

私が、必要だと考えているのは、投資理論、行動経済学、地政学、リスク管理の4つの視点です。

投資理論

≡≡≡ 何で利益を得るのか、自分の流派を知る

行動経済学

≡≡≡ 判断ミスを引き起こす、バイアスや感情の壁を乗り越える

地政学

≡≡≡ 経済とは切り離せない世界情勢を把握する

本書は、この4つの視点から「先行き不透明な状況のなかで、どのように投資すべきか？」という問いについて考えていきます。

そして、最終的な投資の結論が「パーマネントポートフォリオ」を実践すること。

「パーマネント」とは「半永久的な、長持ちする」という意味。米国の経済評論家、ハリー・ブラウン氏によって開発されたポートフォリオなのですが、どんな市場環境になったとしても、保有し続けているだけで資産を増やすことを目指します。詳しくは、本書で説明していきます。

本書を読み終える頃には、自分自身で株式市場や社会の変化に柔軟に対応する力も身につけていることでしょう。

今、不安定な時代に投資家に必要なスキルは、必要な情報を見ながら未来を見立てる力です。

それは、つまり「自分の頭で考える」ということです。

解像度を上げれば、結論が見えてくる！

何に投資すればいいかわからない……？



4つの観点で、投資の解像度を上げよう！

① 3つの投資手法の特性 ◎ テクニカル派 ◎ ファンダメンタルズ派 ◎ インデックス派	② 行動経済学の罠 ◎ 過去の経験や先入観によるバイアス ◎ 損失回避（プロスペクト理論）によるバイアス
③ 地政学と経済の関係 ◎ ランドパワーとシーパワー ◎ ハートランドとリムランド ◎ 米国と中国の関係 ◎ ロシア、中東問題	④ 暴落やバブルのリスク ◎ バブルと暴落 ◎ ランダム性 ◎ フィードバック

今すべき投資の結論＝パーマナントポートフォリオ



「この判断は、バイアスがかかっているかもしれないから、もう少しデータを探そう」

「米国雇用統計でこの数値が出るということは、これからはこうなる確率が高い」

「この動きは、暴落の前兆かもしれないから、事前に準備しておこう」

こういった仮説が立てられるようになると、投資が楽になります。もし、その仮説が外れたとしても、学びだと考えて、早めに手を打てば良いのです。

本書が、皆様の不安をなくし、新たな未来を切り開く一助になれば嬉しいです。それでは、そもそもの投資の意味から考えていきましょう。

序 章

——はじめに——なぜ、投資すると不安になってしまうのか？……………

2

解像度を上げて、投資の意味を考える

今、投資する意味はあるのか？……………

16

投資で本当にお金は増えるのか？……………

22

なぜ、投資の失敗は起こる？……………

26

不安定な経済状況、情報がカオスな今、考えるべきこと……………

31

第 1 章

「これ本当ですか？」

お金にまつわるキーワードを紐解く

「日経平均10万円台」は本当に来るのか？……………

36

第 2 章

投資を3つの流派から考える

「エブリシング・バブル」は本当か？

金利だけ見ていれば投資はうまくいくのか？

自分の頭で考えるために「解像度」を上げよう

51

56

65

投資には大きく分けて、3つの流派がある

――投資の3つの流派 1――テクニカル派

――投資の3つの流派 2――ファンダメンタルズ派

――投資の3つの流派 3――インデックス派

74

77

85

96

第 3 章

感情や直感の罠を避けるための 行動経済学

株式市場を考えるための地政学

投資に関する「行動経済学」をまとめた

110

人の意思決定は2パターンある

115

過去の経験・先入観によるバイアス

121

損失回避によるバイアス（ロスペクト理論）

141

「ナッジ」に要注意！

163

行動経済学の罠に陥らない「仕組み」を作ろう

165

アノマリーを活用した投資戦略も覚えておこう

170

後悔を恐れず、行動せよ

175

地政学と株価は大きく関連している

180

世界情勢は、ランドパワーとシーパワーの繰り返し

184

米国 vs 中国

191

なぜ、ロシアは侵攻を始めたのか？

208

第 5 章

暴落リスクに備えるために

各国の対立構造から中東問題を考える

..... 219

日本に潜む地政学リスク

..... 227

中国株・インド株に直接投資する意義はある？

..... 230

暴落の予兆は見抜けるのか？

..... 234

バブルの予兆は見抜けるのか？

..... 245

専門家でも今後の市場は予測できない

..... 252

予想外の出来事にどう対処するか？

..... 254

「不確実性の要素 1」「ランダム性」

..... 257

「不確実性の要素 2」「フィードバック」

..... 270

不確実性にどう対処すればいいのか？

..... 274

投資の解像度を上げた結論

堅実に増やせる唯一の投資方法とは？

なぜ、みんなオルカンばかりを推すのか？

パーマネントポートフォリオで全局面に備える

ポートフォリオを見直すタイミングとは？

——おわりに——「お金を使う」大切さを忘れずに

318

309 295 291 288